

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



2015年 県産品奨励月間標語
第39回 沖縄の産業まつりテーマ 「あ、いいね！ 使って納得 県産品」

時代の風をつかみ
オンリーワン企業へ

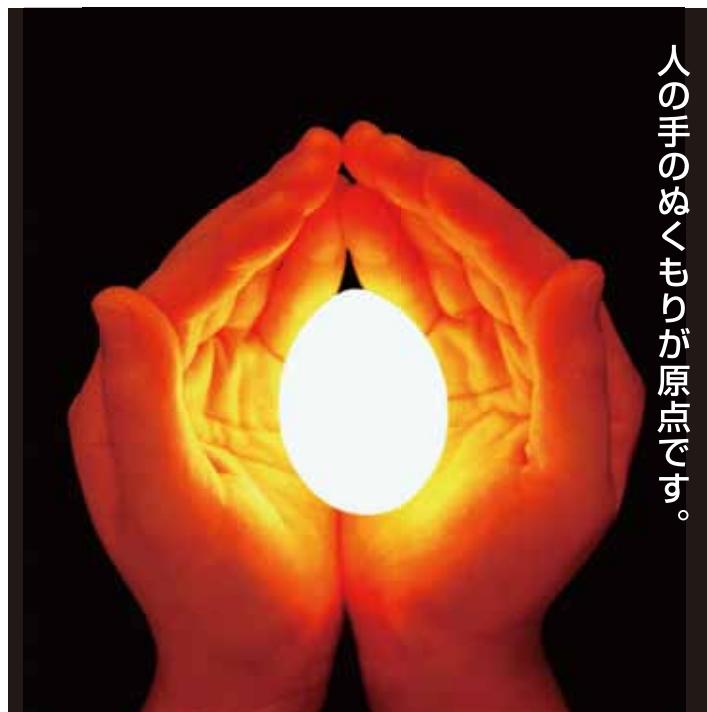
- 第39回沖縄の産業まつり出展募集
- 2015年 県産品奨励月間実績報告
- 元気カンパニー「(株)ブレイズ企画」
- ボイスシリーズ

職業能力を高める

沖縄職業能力開発大学校 校長 宮城隼夫

9月号
2015
Vol.610

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



人の手のぬくもりが原点です。

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。

県産品を心で包むお手伝い。

株式会社 **ざまみダンボール**
ダンボール・紙・文具・事務用品・事務機・OA機器の総合販売商社

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町4丁目7番
TEL(098)992-1616 FAX(098)992-1155

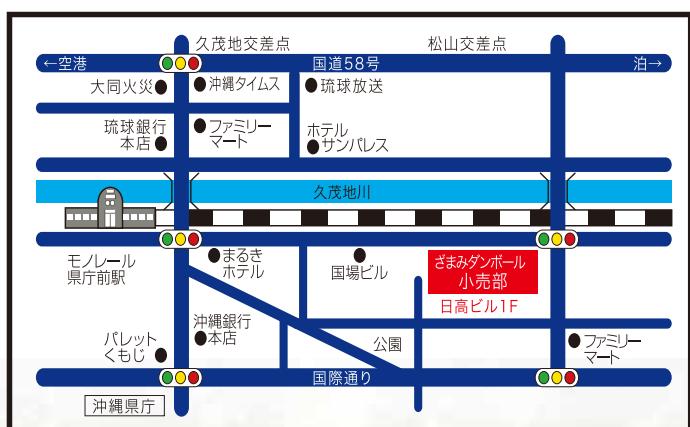
お客様の事務効率を推進するお手伝い
紙・事務用品・ダンボールの店

ザマミ

**ペーパー&オフィス BOX
サプライ**

この看板が目印です。

ざまみダンボール 小売部 〒900-0015 那覇市久茂地3丁目22番地1号
電話(098)867-0131 FAX(098)866-9641



月刊 **工連ニュース** 9月号 2015 Vol.610

- | | |
|---|---|
| 2p ➤ voice vol.106
職業能力を高める
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部
沖縄職業能力開発大학교 校長 宮城 隼夫 | 10p ➤ 沖縄わしたショップ
「ふるさと割 商品券」発売中
株式会社沖縄県物産公社 |
| 3p ➤ 第39回沖縄の産業まつり出展募集 | 11p ➤ 沖縄県JIS協会
第42回通常総会・懇親会 |
| 4p ➤ 2015年 県産品奨励月間第2回実行委員会 | 12p ➤ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
工学部後援会主催 就職説明会報告 |
| 5p ➤ ちばりよ～県産品
5S導入で長期的な成長を目指す
長嶺電機株式会社 | 13p ➤ 沖縄高専だより
沖縄高専共同研究等の受入れについて |
| 6・7p ➤ キラリ！元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
県産品LED蛍光灯で未来を照らす
株式会社ブレイス企画 | 14p ➤ 沖縄職業能力開発大학교
平成27年度後期
能力開発セミナーのご案内 |
| 8p ➤ 2015 知財エクステンションスクール
(一社)沖縄県発明協会 | 15p ➤ 工業技術センターだより
沖縄サポートインダストリー
基盤強化について |
| 9p ➤ 経営者のみなさま
工業用水 利用してみませんか？
沖縄県企業局 | 16p ➤ トピックス
沖工連青年部会 会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ |

2015年 8月 工連日誌

- | | | | |
|--------|---|---------------|---|
| 5日(水) | 8月定例執行部会
●時間／12:00～13:30 ●場所／工連会議室 | 18日(火) | 第39回沖縄の産業まつりポスター制作及び広報宣伝に関する
説明会
●時間／11:00～11:30 ●場所／沖縄産業支援センター |
| 12日(水) | 琉球大学工学部改組に関する要望書提出
●時間／14:00～15:00 ●場所／琉球大学長室 | 19日(水)～20日(木) | 「2015年県産品奨励月間」南北大東村への要請 |
| 14日(金) | 2015年県産品奨励月間第2回実行委員会
●時間／14:00～15:00 ●場所／ホテルロイヤルオリオン | 21日(金) | 平成27年度第1回組織強化委員会
●時間／12:00～13:30 ●場所／ホテルロイヤルオリオン |

特許等取得活用
支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です

※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

※詳しい日時に関してはお問い合わせください。

- うるま窓口(うるま市)毎週 月～金(祝祭日を除く)／8:30～17:15
- 那覇窓口(那覇市)毎週 火・水(祝祭日を除く)／9:00～17:00
- 外部窓口(名護)毎月第4火曜日／9:00～17:00
- 外部窓口(八重山)偶数月・第4金曜日／10:00～17:00
- 外部窓口(宮古)奇数月・第4金曜日／10:00～17:00

全国共通お問い合わせ先



0570-082100 (有料) ☎ 098-995-8778 ■ 内閣府沖縄総合事務局委託事業／
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail／info@okikouren.or.jp ホームページ／http://www.okikouren.or.jp

発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

職業能力を高める



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部
沖縄職業能力開発大学校 校長 宮城 隼夫

さまざまな物づくりを通して沖縄県の社会インフラの基盤を支え、産業の発展に日夜ご尽力なされている沖縄県工業連合会の会員の皆様に心から敬意を表します。また本大学校からも多くの卒業生、修了生を受け入れていただいています。この紙面をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

高齢・障害・求職者雇用支援機構の沖縄支部は、北谷町にある沖縄職業能力開発促進センター（愛称：ポリテクセンター沖縄）と沖縄市にある沖縄職業能力開発大学校（略称：沖縄能開大）の2か所で、県民の物づくりの技量を高めるための教育・訓練を行っています。すなわち、社会問題化している求人・求職にかかる雇用のミスマッチを少なくし、職業に就きやすくなるための教育支援です。そ

の中で、私たちの沖縄能開大は、主に高等学校を卒業した若い人たちを対象にしています。普通の大学と違うのは、カリキュラムが実習・実技に多くの時間を割き、講義形式の座学は実学を裏付けるものとして捉えていることです。これによつて、物づくりの技能・技術を徹底して修得させています。高等学校卒業したての若い人たちには普通、職業意識もあまり無く、何となく単位を取るために大学に通うような傾向があります。ところが、実際に何かを製作して具体的な事柄の技能を高める教育を受けていると、自然に自信も湧いてきて「自分はこういう職業に就きたい」という職業意識が芽生えてきます。これが

沖縄能開大では、このようなカリキュラムで何か一つのものを作り上げる教育・訓練を受けます。通常の大学での

専門課程とさらに2年間学ぶ応用課程の2課程を設けています。専門課程では、職業に必要となる代表的な技能や技術をもとに、あるいは地域の要請を勘案して分野を決めており、現在は生産技術科、電子情報技術科、電気エネルギー制御科、住居環境科、物流情報科、ホテルビジネス科の6科体制になっています。より高度な技能・技術を備え、企業の生産管理部門の中核を目指す学生は、生産機械システム技術科、生産電子情報システム技術科、生産電気システム技術科の応用課程3科のどちらかに進むことになります。応用課程では、他科の学生とともにプロジェクトを組み、任意に構成された6、7人のチームで何か一つのものを作り上げる教

キュラム体制のもとに2年コースの卒業研究に対応するのですが、実際に役立つものを作る、専門分野の異なる人たちと協同することなどが大きな特徴になります。これは社会で必須となるコミュニケーション能力の向上にも一役買っています。

能開大は職業能力開発促進法に基づいて設置されており、高等学校卒業生を対象にするだけでなく、セミナー形式で在職者の技能・技術を向上させる訓練も行っています。広く県民の皆様のご理解とご協力を得ながら、産業界と密接に連携した教育・訓練、共同研究を行つていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



沖縄能開大
イメージキャラクター
オキポリくん

第39回沖縄の産業まつり出展募集

沖縄の産業まつりは、県内の全産業を網羅した総合産業展として位置づけており、本県を代表する一大イベントとして定着しております。今年も「あ、いいね！ 使って納得 県産品」のテーマの下、新規事業や会場レイアウト等の充実に向けて事務局も鋭意取り組んでおります。多くの県内企業の皆様が出展していただき、沖縄のものづくり産業をPRして頂きますようお願い申し上げます。

- 出展期間：平成27年10月23日（金）～25日（日）
- 出展場所：奥武山公園・県立武道館
- 出展条件：県内で生産・製造・加工された県産品に限る
- 出展料：【工連会員企業】
テント（2間×4間）／11万円（展示のみ10万円）

【その他】
テント（2間×4間）／15万円
- 申込方法：所定の申込用紙を事務局より入手していただき、必要事項を記入の上、公益社団法人沖縄県工業連合会事務局へお申し込み下さい。
- 申込締切：定数に達し次第締め切れます。なお、準備の都合がありますので早めにお申し込み下さい。
- 問い合せ：沖縄の産業まつり実行委員会事務局
(公益社団法人沖縄県工業連合会内)
電話／098-859-6191 FAX／098-859-6193



本年度の県産品奨励月間の第2回実行委員会が8月14日に開かれ、吳屋守章会長を中心とした実行委員会メンバーが会場となつたホテルロイヤルオリオンに集まりました。

吳屋会長による挨拶からはじまりました。会はおもに今年の県産品奨励月間期間中に行われたイベントや県産品の日(7月1日)に関する事業についての報告と次年度開催に向けての意見交換が行われました。

第2回実行委員会 県産品奨励月間

平成27年8月14日(金)
ホテルロイヤルオリオン

県産品奨励広報キャンペーンとして毎年開催されている街頭パレードをはじめ、国、県、市町村等に対する県産品使用についての要請活動や沖縄都市モノレール延長整備事業における要請、学校給食における県産食材の優先使用についての文書要請、ふるさと企業訪問など様々な事業、イベントが実施されています。

また、今年はイオン琉球の県内全40店舗にて県産品拡販フェアが実施さ

れ、4月にオープンしたイオンライクム店では「沖縄の物産と観光フェア」が開催されました。こうした新しい取り組みが多方面から高評価を得ており、例年以上に県産品の幅広いPRが実現できたといえます。

吳屋会長は「台風等の影響もあったものの、委員会メンバーや関連企業・団体の方々の協力のおかげで今年も無事県産品奨励月間に開するすべての日程を終了することができた」と関



県産品奨励月間実行委員会
吳屋守章 会長



県内のさまざまな企業・団体で構成される実行委員会のメンバーから、多くの意見が寄せられました。



ちばりよ～県産品

長嶺電機株式会社

●沖縄県浦添市港川512-28
TEL 098-878-2121・FAX 098-878-7222
<http://nagamine.e-arc.jp/>



5S導入で長期的な成長を目指す

キュービクル式高低圧受電盤・配電盤・制御盤・計装盤・監視盤・分電盤・端子盤・SUS盤（屋外盤）の製造を主に手掛け、昭和41年の操業から現在まで地元企業として実績を積み上げてきた長嶺電機株式会社。

創業者である長嶺義男氏から二代目の長嶺義貢氏へと代替わりしてからは、これまでの実績と経験に加えて最新機器を導入する積極的な設備投資によりさらに幅広く経営展開しています。

ディスプレイメモリーなどの表

示デバイスで陰影などを付け、3次元的に表示・操作する3次元CAD（3DCAD）をすべての構造設計で取り入れ、展開工程の廃止と組立作業の効率化を図っています。ソフトを操作する従業員の技術向上にも力を入れており、県外での勉強会やセミナーに社員を多く派遣しています。

自らも設計士として長年現場で経験を積んだ長嶺義貢代表取締役社長は、「経営者としてはもちろんのこと、技術者としての目線をより大切にしている」と話し、広い視点を持つことで若い社員たちに自信をつけ、また意識を高めてほしいと

しています。

「県外業者と比較して地元企業は劣っているということはない。むしろ県外企業にはできない細やかなアフターサービスにより、満足度の高い仕事を追求していきたい」

また、社員教育として、5Sパトロール、整理整頓基準整備を徹底。

整理、整頓、清掃、清潔、躰といった5つの事項に由来する5S活動により、職場環境の美化、職場活動改善意欲を高め、働き甲斐のある環境を作ります。

「技術だけでなく基本的な生活が重要。すぐに結果が出るものではないが長期的に取り組みたい」と、すでに工場内では小さな部品がそれぞれケースに仕分けられ、社内も美しく清掃されています。女性作業員が多いのも特徴であり、男女ともに協力しあって働く環境が構築されています。

「今後は電機製品を製造する工程で必要になる鉄加工の設備と技術を活かし、板金業界にも進出したい」と幅広い業務展開も視野に入れており、技術と人間力の両方を兼ね備えた企業としてさらなる成長が期待されます。



長嶺電機株式会社
代表取締役社長 長嶺義貢氏



お客様のニーズに合わせ、高い安全性と信頼性で保守性にもすぐれた高品質の製品を提供しています。



写真左：
北中城村役場第二庁舎
「美ゆらきらり」導入

写真下：
那覇市 太平通り商店街
「美ゆらきらり」導入



**キラリ!
元気
カンパニー**

沖縄の未来を
照らす企業

県産品LED蛍光灯で 未来を照らす

株式会社ブレイズ企画

琉球大学との強いタッグで
品質追求する

中国の太陽光発電パネル製造・販売企業
キングダムソーラー社の沖縄総代理店と
して、いち早く太陽光パネル販売に着手す
るなど、新エネルギー分野に対する高い意
識を持つ株式会社ブレイズ企画 嘉手納豪
社長。次世代の照明機器として現在販売・
製造、施工に力を入れているのが、県内唯一
の沖縄県優良県産品「美ゆらきらり」です。

琉球大学工学部電気電子工学科の長田
康敬教授により開発された「美ゆらきらり」
は、消費電力 19W に全光束 2040lm と
少ない消費電力で明るい点に特徴があり、
従来の蛍光灯の二分の一(白熱球の五分の一)
にまでエネルギー消費を抑えることができ
ます。寿命も蛍光灯の三倍、白熱球の十倍
と長く設計されており、交換の手間とコスト
を省くことができるのも導入のメリット
のひとつとされています。

LED照明の開発に着手したきっかけに
ついて、長田教授は「LED照明の省エネ
効果が広く認められるようになり、新エネ
ルギー導入の重要性は政府のみならず中
小企業にも広まりつつある。しかし、一言で
LED照明といつても品質にはバラつきが
あり、傷みやすいものや熱を蓄積して事故
の危険を孕むものなど、導入することによ
り、むしろマイナスになる場合もあるのが
現状。細部に至るまですべて国産パーツに
こだわり、徹底した品質管理のもと製造し
た安心・安全の最上質 LED 照明」をお手

部品の劣化を発生させる可能性が高い
コンデンサーなどのパーツを排除し、外部
電源構造により、余分な熱を効率よく放出
することに成功。さらに、照明の「見やす
さ」の値とされる演色性が Ra 85 と高い水
準を保つことが可能になりました。また、
現在、沖縄県内で「美ゆらきらり」を組立・
製造することにより、安定した製造ライン
を実現。これまでアフターサービスにも努
めています。

2014年にLED照明としては初と
なる沖縄県優良県産品に認定。沖縄県の推
奨製品としておもに県内での販売促進を
展開しています。

県内では今までに琉球大学をはじめ
オリオンビル株式会社、北中城村役場など
官民様々な場所で導入されており、明る
いうえにコストの大削減にも成功した
と喜ばれています。

また、ブレイズ企画では琉球仕様の防犯
灯も扱っており、これにはLEDの波長域
により、虫が集まらないことに加え、台風
や塩害にも考慮した素材や形状のため、沖
縄の環境にも適した構造になっています。

頃な価格でお客様にご提供したいと考え
た」と話しています。

長田教授は、県外や海外の LED 照明関

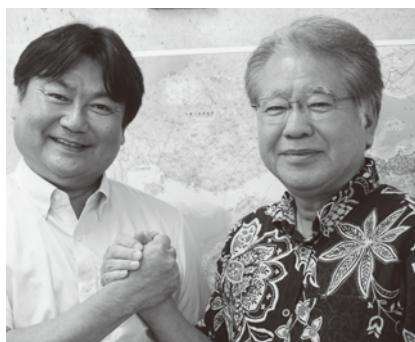
連メーカーにも何度か足を運び、LED 照
明の製造技術や課題の研究をすすめるな
どで、長寿命化の実現やムラのない上質な
明るさを追求。何度も試作を繰り返し
た結果、2012年「美ゆらきらり」を完成
させました。



株式会社ブレイズ企画
代表取締役社長 嘉手納 豪



オリオンビール社員食堂
「美ゆらきらり」導入



写真上・右：
オリオンビール名護工場
「美ゆらきらり」導入

人物写真右：嘉手納社長

人物写真左：
琉球大学工学部電気電子工学科
長田康敬 教授



株式会社ブレイズ企画 嘉手納社長と長田教授が知り合ったのは2014年。創業以来、再生エネルギーや環境に配慮した製品に注目し続けていた嘉手納社長は「美ゆらきらり」の性能に惚れ込み、タイアップを決めたと話します。

「東日本大震災以降、日本全体におけるエネルギーについての関心が高まった。エネルギーを作ること、また消費エネルギーを抑えることを国民みんなが考えていかなければなりません」とし、新エネルギー事業の重要性を拡散していくたいとしています。

政府は新成長戦略とエネルギー基本計画の一環として、大幅な省エネ性能の向上が見込まれるLED照明や有機EL照明の高効率次世代照明を2020年までにフローで100%普及させる目標を立ており、2012年7月に閣議決定された「日本再生戦略」では、2020年までの設備・施設の照明すべてにおいてLED等高効率照明導入率100%との方針が示されています。

これまでおもに使用されていた水銀灯等高輝度放電灯(HIDランプ)の製造・輸出入も2020年以降原則禁止となり、日本のエネルギー界にとって大きな転換の年になることは間違いないありません。

「県内企業の中にも蛍光灯や水銀灯を使用している事務所や工場は少なくないはず。いずれ転換することがわかつているのなら

信頼のおける県産品を 沖縄の皆様へ。そして世界へ

早めに取り入れたほうがよいという考えも多い。事故や故障を防ぐためにも、信頼のおける優良県産品を使用してもらいたい」と嘉手納社長は「美ゆらきらり」導入を力強く提言しています。

ブレイズ企画では、前述の太陽光発電システムやセルフオーダーリングシステム「メニュー・ドーム(メードットジェイピー)」等の最新技術を用いて国内のみならず海外へもシェアを拡大させる方針であり、嘉手納社長自らタイヤカンボジアなどの途上国へ足を運び、現地が抱える問題やニーズを調査しているところだとじります。

「途上国にとって今もっとも必要なものはなにかを正確に察知したうえで、一時的なボランティアではなく、長期的に付き合いのできる仕事を目指している。沖縄県産品のLED照明が海外でも認められるためにもまずは県内での普及に力を入れたい」と話しました。



株式会社ブレイズ企画

業種 太陽光発電システム販売、LED照明販売
設立 平成20年5月14日
代表者 代表取締役社長 嘉手納 豪
住所・連絡先 本社：那覇市牧志3丁目18-38 2F
TEL.0800-123-2012



有吉国際特許事務所 弁理士 有吉修一朗 氏

内閣府沖縄総合事務局による知的財産普及啓発事業の一環として知財エクステンションスクールが本年度も開催されました。企業の成功事例や著作権など、多彩なメニューが取り入れられており、企業の知的財産活用を支援するものとなっています。

沖縄産業支援センターで8月13日（木）開催されたセミナーでは、有吉国際特許事務所の有吉修一朗弁理士が「商標を利用した事業戦略」をテーマに、成功事例・失敗事例両方のデータを交えた講義を行いました。

有吉弁理士は企業を対象に会社名、商品名やロゴマークの商標登録を勧めており、永年使用している名称であったとしても、他社が同じ名前を商標登録した場合には今後使用できなくなるケースもあります。新しいタイプの商標の保護制度が受けています。

知財エクステンションスクールは9月末までの期間沖縄県内各所で開催されています。

沖縄産業支援センターで8月13日（木）開催されたセミナーでは、有吉国際特許事務所の有吉修一朗弁理士が「商標を利用した事業戦略」をテーマに、成功事例・失敗事例両方のデータを交えた講義を行いました。

有吉弁理士は企業を対象に会社名、商品名やロゴマークの商標登録を勧めており、永年使用している名称であったとしても、他社が同じ名前を商標登録した場合には今後使用できなくなるケースもあります。

沖縄産業支援センターで8月13日（木）開催されたセミナーでは、有吉国際特許事務所の有吉修一朗弁理士が「商標を利用した事業戦略」をテーマに、成功事例・失敗事例両方のデータを交えた講義を行いました。

内閣府沖縄総合事務局による知的財産普及啓発事業の一環として知財エクステンションスクールが本年度も開催されました。企業の成功事例や著作権など、多彩なメニューが取り入れられており、企業の知的財産活用を支援するものとなっています。

内閣府沖縄総合事務局による知的財産普及啓発事業の一環として知財エクステンションスクールが本年度も開催されました。企業の成功事例や著作権など、多彩なメニューが取り入れられており、企業の知的財産活用を支援するものとなっています。

2015 知財エクステンションスクール ～気軽に学ぶ、多彩なプログラム～

（一社）沖縄県発明協会

本年度より制定され、これまでの「文字商標」、「図形商標」、「立体商標」などの商標タイプに加え、4月1日からは「動き商標」や「ホログラム商標」、「音商標」など新たな保護対象商標の出願受付が開始されています。新たなタイプの商標を登録出願する場合のポイントについても詳細に説明があり、受講者はメモを取るなどして熱心に聞き入っていました。

さらに商標を利用した商品開発事例として、株式会社オキネシア代表取締役金城幸隆氏による自社製品の商標登録出願への経緯や商標登録のメリットについての発表もあり、実体験にもとづいた話を聞くことは受講者にとっても貴重な経験となりました。



株式会社オキネシア 代表取締役 金城幸隆 氏



経営者のみなさま

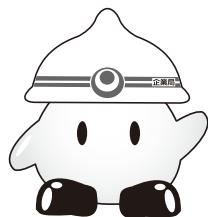
工業用水 利用してみませんか？

工業用水 35円 /m³ (税別)

利用状況によっては上水道と比較すると

↓約85% もコスト削減できる場合があります。

※契約水量を超過した場合は、1/m³あたり70円(税別)の超過料金がかかります。



工場や事業所で、安くてお得です。



原料用として

- 工業製品原料
- 飼料原料
- 加工食品原料
(要浄水処理) ···など



冷却用として

- 加工製品冷却
- ボイラー冷却 ···など



洗浄用として

- 工業製品洗浄
- 食品洗浄
- 洗車
- トイレ ···など

工業以外でも雑用水として、下水道処理場やごみ焼却場などの公共施設、クリーニング業、運送業、スーパーやショッピングセンターなどの産業の健全な発展に資する施設については、条件付きで使用することができます。

県内では、95社が年間約625万m³の工業用水を使用しています (平成26年度実績)

給水区域

名護市、宜野座村、金武町、うるま市、沖縄市、北中城村、中城村、西原町、南風原町、与那原町、南城市（旧佐敷町、旧大里村区域）、八重瀬町（旧東風平町区域）、糸満市



給水対象

- ・上記給水区域で、申込水量が100m³/日以上の者。
(状況によって30m³/日以上認められている場合もありますので
ご相談ください)
- ・ただし、中城湾港新港地区工業団地、糸満工業団地及び
名護市久志から屋部工場適地間においては10m³/日以上。

水質・水圧

水温	濁度	pH	アルカリ度	硬度
常温	20度以下	6.5 ~ 8.0	75mg/l以下	120mg/l以下
蒸発残留物	塩素イオン	鉄	水圧	
250mg/l以下	80mg/l以下	3.0mg/l以下	0.05MPa以上	

※水圧は配水管末における最低水圧です。

お問い合わせ

○ 沖縄県企業局 配水管理課 TEL:098-866-2810 FAX:098-866-2811

※ホームページにて申し込み手引き及び申請用紙が入手できます。

<http://www.eb.pref.okinawa.jp/jigyo/103>

ふるさと割商品券で 県産品の魅力全国へ伝える

(株)沖縄県物産公社



わしたショップ国際通り本店



那覇空港わしたショップ



わしたショップ
イオンモール沖縄ライカム店



全国のわしたショップにてお使いいただけます。

直営店

わしたショップ国際通り本店
TEL.098-864-0555

那覇空港わしたショップ
TEL.098-840-1197

わしたショップイオンモール沖縄ライカム店
TEL.098-923-5255

札幌わしたショップ TEL.011-208-1667
銀座わしたショップ TEL.03-3535-6991

わしたショップイオンレイクタウンkaze
TEL.048-990-8137

わしたショップイオンモール幕張新都心
TEL.043-239-7272

名古屋わしたショップ TEL.052-262-4789
福岡わしたショップ TEL.092-752-0707

仙台わしたショップ TEL.022-395-5590

特約店

わした静岡店 TEL.054-203-4717

わしたイオンモール名古屋茶屋
TEL.052-398-6173

わした大阪天神橋筋 TEL.06-6358-8860
わした神戸三宮店 TEL.078-331-2004

わした宇都宮ベルモール店
TEL.028-662-8577(9/19(土)オープン)

沖縄物産の店「わしたショップ」14店舗（8月末現在）を全国展開するとともに各地の百貨店で沖縄物産展を開催するなど、沖縄の商品を広くPR、販売している株式会社沖縄県物産公社より全国のわしたショップで利用できる「沖縄わしたショップふるさと割商品券」が販売されています。

わしたショップ会員を対象に1人につき10セット限定で販売されており、1セット3,500円で500円券10枚が入り5,000円分の商品券として利用できることから、7月24日の全国一斉発売以降、好調な売れ行きを見せ、初回販売分23,333セットは約1か月で完売、さらに23,333枚が追加発行されています。

沖縄県の委託事業により、県産品消費喚起を目的に発行されており、わしたショップ会員数増加により長期的な県産品販売促進が期待されています。現在、わしたショップ会員として約60万人が登録されており、商品券発行により新規会員数が大きく増加しているといいます。

株式会社沖縄県物産公社リテール事業部部長代理兼直営店営業課長渡久地政和氏は、「平成15年から16年にかけての沖縄ブーム期から沖縄への関心は高まっており、そのニーズに応えるための



サービス向上、商品発掘が課題となつて いる。わしたショップとしては、今年8月に仙台わしたショップをオープン、さらに全国各地へと店舗展開を広げ、情報をア ピールしたいと考えている。今回の商品券発行を新規顧客獲得のよいチャンス とし、また現ユーチャーにもこれまで購入していなかつた新商品を手にするきっ かけにしてもらえれば」と話し、沖縄県 や観光コンベンションビューアーと連携をとりながら県産品消費拡大に繋げたいとしています。

「沖縄の魅力は物品だけでなく、音楽や自然、人のやさしさと多岐にわたる。単品で売るのではなく、総合力で闘わなければならぬ」と渡久地氏は語っています。

り、観光、産業、商業等様々な分野がひとつになつた「オール沖縄」で県産品PRに努めることの重要性をあらためて提唱しています。

沖縄県JIS協会 第42回通常総会・懇親会

平成27年8月21日(金) サザンプラザ海邦

県内のJIS認証企業による沖縄県JIS協会の総会が那覇市のサザンプラザ海邦にて行われ、古波津昇会長(拓南製鐵株式会社代表取締役)を中心とした役員・会員が一堂に会しました。

年に一度開催される通常総会では、主な議題として、平成26年度事業報告・承認が行われております。理事会、執行部会の開催、会誌の発行や関係先への表敬訪問によるPR活動、また講演会や講習会、その他事業に関して、事務局より詳細な説明がされました。

また、平成27年度の事業計画書(案)、収支予算書(案)も役員・会員によって審議され、満りなく承認されました。

会計監査については総会に先んじて8月14日に行われ、収入支出とも適正であることが監事によって承認されていました。

今年からは役員の顔ぶれにも若干の変更があり、協和工業株式会社 島袋等代表取締役、金秀アルミ工業株式会社比嘉治彦代表取締役が副会長に新任されました。



沖縄県JIS協会
古波津 昇 会長



古波津会長は「県外企業に対抗するためにもJIS企業の成長・発展が不可欠。高品質な製品作りで県内産業発展に努めたい」と話し、協会の活動への理解と協力を求めました。

総会終了後には隣の会場にて懇親会も開かれ、会員同士が交流を深めました。沖縄県工業連合会はじめ数々の関係企業・団体からもゲストが訪れ、県内産業の現状や課題に関する意見交換も行われるなど、協会会員にとって有益な時間をなりました。

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

工学部後援会主催 就職説明会報告

工学部後援会事務局 浦崎直光・斎藤将人



琉球大学工学部後援会は、8月3日(月)～7日(金)(午後1時～午後4時)に、地域創生総合研究棟1階ロビーを会場として、後援会会員企業による就職説明会を開催しました。新しい就職協定の下で8月1日の採用専攻活動開始直後の開催でした。5日間合わせて38社(のべ62社)に参加頂きました。参加学生数は5日間合わせてのべ64名でした。現在就職活動中の学生だけでなく、来年度就職活動を行う学部3年、修士1年の学生も約3割参加していました。

学生からは「新しく興味のある企業を見ることができた」「どのブースでも自分が知りたい内容や、アドバイスなども頂け、本当に助かった。就活にやる気が出たし、気になる業種も増えて本当に良かった」「実際に会社の方々と話す機会を頂き、雰囲気や業務内容、今現在やっておくべきことなどを知ることができるものすごくためになりました」などの感想がありました。学生の就業意識や就職活動に対して、良い刺激を与える有益な機会となつたようです。

参加企業の方々は、ブースをディスプレイされたり、プロジェクトやモニタ、ポスター等を用いたり、と工夫を凝らしたプレゼンテーションで学生に対して熱心に説明されていました。参加企業からは、参加学生数が少ないとことや、開催時期について多く意見を頂きました。また、事前に学生の訪問希望を取ってはどうか、という意見も頂きました。就職説明会の効果的な宣伝はもちろん、会員企業の学生への認知度を高めることや、参加学生数の確保、開催時期、運営方法など様々な課題が浮き彫りになりました。

今後も後援会会員企業の皆様と学生との直接的な接点である就職説明会を、より効果的で双方にとって有意義なものとなるよう工学部は尽力していきます。

皆様のさらなるご指導とご支援をお願い申し上げます。



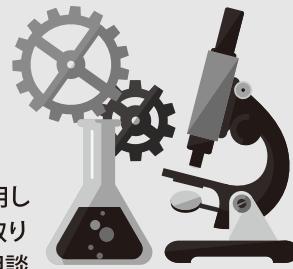
琉球大学工学部後援会事務局 (電気電子工学科内／担当：浦崎直光・斎藤将人)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 TEL:098-895-8710・8698 FAX:098-895-8708

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

沖縄高専共同研究等の受入れについて

沖縄高専では、本校の有する人的資源、知的資産、研究設備・施設等の物的資産を活用して、地域社会との連携・交流の推進、共同研究等による技術開発、及び人材の育成に取り組んでおります。共同研究、受託研究、寄附金、受託試験のご相談、また、技術的なご相談など、隨時受付けておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



共同研究・受託研究・寄附金・受託試験・技術相談の進め方

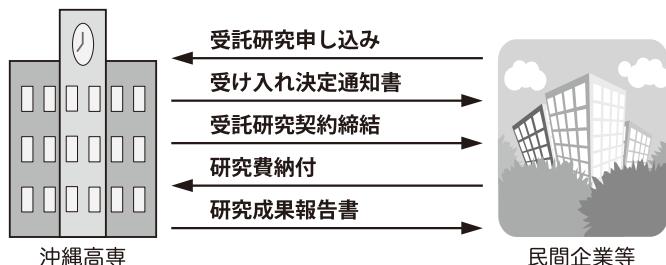
共同研究

民間企業等（地方公共団体、各種特殊法人等を含む）から研究者、研究費を受け入れ高専の当該教員と共同して研究をあこなうものです。
民間等共同研究員を受け入れる場合、研究指導料は6ヶ月につき21万円／1人となります。



受託研究

民間企業等（地方公共団体、各種特殊法人等を含む）から委託を受けて行う研究で、これに要する経費は、受託者に負担していただくものです。



寄附金

民間企業等や個人の方などから本校の学術研究や教育の充実の奨励、支援を目的として寄附金を受け入れています。この寄附金は、本校の教育・研究の充実、発展に重要な役割を果たしています。
なお、寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。



※共同研究、受託研究、寄附金については、原則、間接経費をいただいておりますのでご了承下さい。

なお、共同研究の間接経費は直接経費の10%に相当する額、受託研究の間接経費は直接経費の30%に相当する額となっております。また、受託研究については、原則、別途受託料をいただいています。

受託試験

沖縄高専が、企業等からの依頼により試験、分析等を実施し、その結果を報告します。
受託試験料については、試験等の内容に応じて料金を頂くことになります。

技術相談

地域産業界との連携の一つとして、現場で抱えられている技術的問題等についてのご相談を受け付けてあります。ご相談は、地域連携推進センターにてご相談内容を検討させていただき、ご連絡します。

共同研究・受託研究・寄附金・
受託試験・技術相談のお問合せ
申込書の提出は下記まで
よろしくお願ひいたします。

沖縄工業高等専門学校研究連携推進室（担当：伊波・佐加伊・守田）

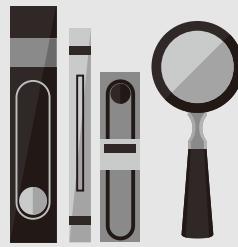
〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4070(直通)・FAX:0980-55-4012
E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>





平成27年度後期 能力開発セミナーのご案内

当大学校では、職業に必要な技術・技能及びこれに関する知識を習得しようとする在職者の方々に対し、個々の有する技術・技能に応じて段階的、体系的な能力開発セミナーを実施しています。平成27年10月から平成28年2月までに開講を予定しているコースを紹介いたします。また、オーダーメイドセミナーに関する相談も受け付けております。以下のコース以外についても、お気軽にお問い合わせください。



●能力開発セミナー

コースNo.	コース名	講座内容	講座日程 【実施時間】	訓練時間	定員 (人)	受講料 (円)
MZ151	製品設計のための3次元設計技術(ソリッド編)	製品設計業務において効率的な業務展開、設計品質向上をめざして、強力な設計検証ツールである3次元CADの活用方法を習得する。	10/21(水)、23(金)、26(月) 28(水)、30(金) 【18:00～21:00】	15	10	10,000
MZ171	状態保全(CBM)による設備管理技術	機械設備等による生産ラインの保全作業の効率的・最適化をめざして、設備保全の全体的な考え方と状態保全(CBM)の摘要技術、コストの考え方などを習得する。	11/17(火)、18(水) 【9:00～16:00】 11/19(木) 【9:00～12:00】	15	10	30,000
EZ311	パワーエレクトロニクス(モータ制御編)	モータ設備の省エネ効率化を目指してパワー電子の特性を理解しそれらを用いた電力制御技術を習得する。	平成28年 1/23(土)、24(日)、30(土) 【9:00～16:00】	18	10	10,000
MZ251	PLC制御による位置決め制御技術	自動化生産システムの設計保守の最適化及び生産性の向上をめざして、PLCの位置決め制御とシーケンス制御を習得する。	平成28年 1/18(月)、19(火) 【9:00～16:00】	12	10	6,500
MZ241	タッチパネルを活用したFAライン管理	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、タッチパネルとPLCを活用した自動化システムの設計に必要な技術を習得する。	平成28年 2/1(月)、2(火) 【9:00～16:00】	12	10	6,500
EZ611	Web-DBシステムを利用した生産支援システム構築技術	生産現場における様々な管理要素をデータベース化し、Webを活用したシステムの設計・構築に必要な知識及び技術を習得する。	11/16(月)、17(火)、18(水) 【9:00～16:00】	18	10	10,500
EZ821	Webを活用した生産支援システム構築技術	生産活動全般の効率化をめざして、システム化・一元化された生産計画や製造指示、作業実績等のデータを有効活用したWebシステムを構築する技術を習得する。	10/26(月)、27(火)、28(水) 【9:00～16:00】	18	10	9,500
EZ881	組込Linux実装技術	組込システム開発における改善や効率化に向けて、組込Linuxシステム構築技術とプログラムの実装技術を理解し、システム最適化のための開発設計手法を習得する。	10/27(火)、28(水) 【9:00～16:00】	12	10	10,000
MZ871	組込Linuxシステム開発技術	組込システム開発におけるシステムの改善や業務の効率化をめざして、組込Linuxシステム構築技術を理解し、システムの最適化のための開発・設計手法を習得する。	平成28年 1/21(木)、22(金) 【9:00～16:00】	12	10	10,000
EZ101	太陽電池利用技術	小型太陽電池発電におけるシステム設計の効率化・最適化をめざして、システム構成や最大出力追尾装置などの取り扱い等を習得する。	12/5(土)、6(日)、13(日) 【9:00～16:00】	18	10	9,500

●オーダーメイド能力開発セミナー

コースNo.	コース名	講座内容	講座日程 【実施時間】	訓練時間	定員 (人)	受講料 (円)
MZ061	マシニングセンタ実践技術(プログラミング編)	機械部品製造において、図面や生産条件から工程を立案する際に、経済的な段取り、生産方法等を選択し、高い次元で効果的な加工手法を習得する。	お申込み受付中 ※日程は要相談	24	10	13,500
MZ091	実践フライス盤技術	フライス盤加工作業における効率化・高精度化をめざした条件設定や加工法の検討、段取りの方法を実践的な加工実習を通して習得する。		18	10	11,500
MZ211	旋盤実践技術(組合せ部品加工編)	旋盤作業における加工工程の低コスト効率化をめざして高精度な加工ノウハウと旋盤の保守及び精度維持に関する知識を習得する。		18	10	11,500

※地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”的な悩み解決を行いたいと考えています。技術的相談等お気軽に寄せください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校 (援助計画課:岡村・赤嶺)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-4810 FAX. 098-934-6287

●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html> ●ホームページ <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

工業技術センターたより

Okinawa industrial technology center

沖縄サポートインダストリー基盤強化について

沖縄県は、機械金属製造業などに代表される「サポートイング産業」の集積が乏しく、そのため県内で活用されている機器の殆どが県外製であることや、若い人の就職先が少ない、製造業の誘致が難しいといった課題があります。県内のサポートイング産業を強化するため、最新機器を導入し、機器を活用した人材育成に取り組みました。

この事業により導入した機器を紹介します。これらの機器につきましては、お気軽にお問い合わせ頂き、積極的なご活用をお願いします。

導入機器の紹介



真空熱処理炉(中日本炉工業:MF-300-PC)

切削加工した金属部品や金型などを加熱・冷却し、硬度や性質を変化させる処理を行う装置です。

炉内寸法:500幅×350高×700奥、炉内温度:1,050°C(常用)



マグネシウム射出成形機(ソディックプラスチック:MP220)

棒状マグネシウム合金を、シリンダーで溶解させ金型に射出する、従来より安全な成形機です。

最大型締め力:220ton



5軸加工機(日新工機MAX410i-F40)

テーブルが傾斜、回転することで複雑な形状を精度良く加工することができます。

最大ワーク寸法:450x460x410mm 主軸最大回転数:10,000rpm



複合加工機(オーダマ:MULTUS B300II)

NC旋盤が持つ機能とマシニングセンタが持つ機能をあわせ持つ加工機です。

最大ワーク寸法:φ630x長さ900 主軸最大回転数:5,000rpm

※この他、高速マシニングセンタ、3次元測定機、金属粉末積層造型機、非接触3次元測定機も導入しました。

工業技術センターは、県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発の支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター（技術支援版／企画管理班）

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL::098-929-0111・FAX:098-929-0115

E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp(メルマガを始めています。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/kogyou.html>

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

沖工連青年部会 会員募集中！

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格／公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費／入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数／22名(2015年7月現在)



お問合せ先：公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当：小浜)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与すること」を目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため銳意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新商品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味



沖縄県産品
マーク表示制度
について

自社製品のピーアールに 「県産品マーク」を 使用してみませんか？

公益社団法人 沖縄県工業連合会



県産品マークとは…

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にしていただくとともに、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

1 | 沖縄県産品マーク表示申請資格

- (1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
- (2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
- (3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。

2 | 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

3 | 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

4 | 申請料金

1製品につき30,000円



県産品マーク
表示商品
の一例



 沖縄電力株式会社

 株式会社 沖電工

 沖電企業株式会社

 沖縄プラント工業株式会社

 沖縄電機工業株式会社

 沖電開発株式会社

 沖電グローバルシステムズ株式会社

 沖縄エネットック
OKINAWA ENETECH

 沖縄新エネ開発株式会社

 株式会社 沖設備

 ファーストライティングテクノロジー株式会社

 株式会社 プログレッシブエナジー

 有限公司 キューテック

 株式会社 がんじゅう



百添会
(沖電グループ)